

令和4年度大阪府中河内保健医療協議会 議事概要

日時: 令和5年2月10日(金)午後2時から午後4時

開催場所: 中河内府民センタービル 4階 大会議室

出席委員: 25名

(委員定数 34名、定足数 18名であるため有効に成立)

藤江委員、野口委員、平松委員、佐堀委員、貴島委員、奥田委員、橋本委員、西村委員、粕谷委員、川口委員、中野委員、岸本委員、辻井委員、山中委員、千種委員、山口委員、角田委員、大平委員、大東委員、奥村委員、田村委員、島田委員、小村委員、松本委員、高山委員

■会長・副会長選出

会長に柏原市医師会会長の藤江委員、副会長に柏原市歯科医師会副会長の西野委員、枚岡薬剤師会会長の野口委員が選出された。

■議題1 令和4年度「地域医療構想」の取組と進捗状況

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

【資料1】令和4年度「地域医療構想」の取組と進捗状況

【資料7】二次医療圏における各医療機関の診療実態

【資料7(別添)】中河内二次医療圏における各医療機関の診療実態

【参考資料1】過剰な病床の状況

【参考資料2】医療法上の過剰な病床の状況

【参考資料3】地域医療構想に関する各種データHP公表について

【参考資料4】重点支援区域について

【参考資料5】病床機能の再編支援について(申請病院一覧)

【参考資料6】医師の働き方改革について

【参考資料7】厚労省 外来機能報告制度に関する説明会(R4年12月)資料

【参考資料8】令和3年度病床機能報告結果(有床診療所の報告状況)

【参考資料8(別紙)】令和3年度病床機能報告結果(中河内二次医療圏有床診療所の報告状況)

(質問)

○府は適宜、国に病床数の必要量の見直しを働きかけているとのことだが、現在の必要量が数年後に見直しされるか分からない状態では、病院の建替え計画等、経営方針策定に大きく影響するので、はっきりしてほしい。

(大阪府の回答)

○必要量との比較は現行の推計値となるため、見直しについて引き続き、国に働きかけていきたい。協議会等のご意見を踏まえ、必要な医療体制を検討したい。

(質問)

- 現行の高度急性期と急性期の必要量で10年に1度来ると言われている新興・再興感染症のパンデミックに対応できるのか。感染症や地震等の災害は高度急性期、急性期に余裕がないと本来守れるはずの命が守れなくなるのでは。数だけの議論とならないよう、国にも伝えてほしい

(大阪府の回答)

- 新型コロナウイルス感染症により浮彫りになった課題も踏まえ、2040年に向けた地域医療構想の見直しを行うと国からも聞いている。しかし、見直しスケジュールは2025年では遅いと考えており、様々な機会に訴えかけていきたい。

(意見等)

- そもそも地域差があるのに地域医療構想の概念が1つしかないというのに無理がある。府は民間病院が多いという独自性がある。民間は経営策定に関わることなので、基本となるルールを早く教えてもらいたい。
- 会議資料が膨大となっているので、概略版があると助かる。
- コロナの対応について保健所の対応には感動した。市民の立場から保健所の充実を望む。

■議題2 基準病床数の見直しの検討

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

【資料2】令和4年度基準病床数の見直しの検討について

<協議結果>

- ・来年度も引き続き基準病床数の見直しを検討することとなった。

(質問・意見)

- なし

■議題3 外来機能報告の報告期限の延長について

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

【参考資料7】厚労省 外来機能報告制度に関する説明会(R4年12月)資料

(質問・意見)

- なし

■議題4 令和4年度中河内二次医療圏における「地域医療構想」の進捗状況

■議題5 令和4年度中河内二次医療圏における各病院の今後の方向性

資料に基づき、大阪府藤井寺保健所から説明

【資料3】令和4年度中河内二次医療圏「地域医療構想」の進捗状況

【資料4】令和4年度病院プラン医療機関別一覧(中河内二次医療圏)

【資料5】令和4年度中河内病院連絡会結果(概要)

【資料6】地域医療構想にかかる医療・病床懇話会の意見(概要)

【資料8】非稼働病床の現況について

<協議結果>

- ・ 各病院の病院プランについて合意
- ・ 重点支援区域については特に意見がなく、申請を行わないこととなった。

(質問)

○大阪府が定めた必要量が基準になる中(急性期病床が過剰という現状)、過剰病床転換の際、現場の意見はどこまで反映されるのか。回復期を増やしていく方向であっても、今のままではゴールがわからない。報告基準は皆が納得する形で変えていくべきではないのか。

(大阪府の回答)

○府の基準については色々な意見を聞いている。基本的に基準は変えるものではないと思うが、実態に合わなければブラッシュアップを図っていきたいと考えている。次年度以降については整理して方向性を示したい。

(質問)

○コロナ禍では在宅医療での急変時、搬送困難事例が増えたが、重症急性期、急性期を減らして災害、パンデミック時に対応ができるのか。地域医療構想では、高度急性期、急性期は過剰なため、慢性期に転換を促し、限られた病床の比率を変えていくとのことだが、慢性期が急性期の機能も担うことができるのか。

(大阪府の回答)

○地域医療構想では、慢性期ではなく、回復期が不足している。今後さらに高齢化が進み、重症急性期の疾患も増えるが、それ以上に地域急性期、回復期リハの疾患が増えると推計され、それに基づいた病床の比率を出している。地域急性期も回復期としており、地域急性期でどこまで対応できるのかなど、現場の意見も取り入れ、議論していきたい。

(質問)

○脳卒中や心筋梗塞、骨折などでリハビリが必要なのはわかるが、いきなりリハビリするわけではないので、重症急性期を増やす必要があるのではないのか。

(大阪府の回答)

○実際の診療密度を拝見すると「急性期一般入院料4～6」の病床でも、地域急性期(回復期)を担っている病床もあり、そういった病床を増やしていくことが必要と考えている。

(意見)

○市立東大阪医療センターと八尾市立病院が高度急性期に転換することで、助けられる命を助けられるので良いと思う。

■議題6 令和4年度 在宅医療にかかる取組と今後のあり方について

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

【資料9】令和4年度 在宅医療にかかる取組と今後のあり方

(意見)

○在宅医療に関する実態調査について、医科への調査は実施されていると思うが、歯科・薬科への聞き取りが全くないと思う。来年度以降調査されるのであれば、歯科・薬科への調査もしていただければ、より良い意見が出ると思う。

■議題7 地域医療への協力に関する意向書の提出状況

資料に基づき、大阪府藤井寺保健所から説明

【資料10】地域医療への協力に関する意向書提出状況

(中河内二次医療圏 診療所新規開設者)

【資料11】地域医療への協力に関する意向書提出状況

(中河内二次医療圏 医療機器新規購入・更新者)

(質問・意見)

○なし

■議題8 第7次大阪府医療計画における取組状況の評価について

資料に基づき、大阪府藤井寺保健所から説明

【資料12】2022年度第7次大阪府医療計画PDCA進捗管理票 中河内二次医療圏

(意見等)

○「救急医療・災害医療」について、医薬品を選ぶ際に中河内圏域での選定というのができれば、よりスムーズに治療が進むと思うため、ご検討いただければと思う。

■議題9 地域医療支援病院の承認について

資料に基づき、【資料13】大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課と、【資料14】八尾徳洲会総合病院から説明

【資料13】地域医療支援病院について

【資料14】八尾徳洲会総合病院 2023年度地域医療支援病院承認に向けて

<協議結果>

・八尾徳洲会総合病院の地域医療支援病院承認について反対意見なく、同意となる。

(質問・意見)

○なし

■議題 10 救急告示医療機関の認定状況について

■議題 11 傷病者の搬送及び受入れの実施基準(医療機関リスト)の更新について

資料に基づき、大阪府藤井寺保健所から説明

【資料 15】救急告示医療機関一覧 (中河内二次医療圏)

【資料 16】中河内圏域における傷病者の搬送及び受入れの実施基準

(質問・意見)

○なし